

2011年度 カシオ環境行動目標実績

2011年度 カシオ環境行動目標実績報告

達成度評価基準		
①目標値を達成しかつ、新たに高い目標値が設定された		☆☆☆
②目標値を達成した		☆☆☆
③目標値は未達成だが、前年度よりは着実に改善された		☆☆☆
④目標値に向かって推進中であり、次年度以降に成果が見込まれる		☆☆
⑤基準値と同等か又は悪化している		☆

活動テーマ	目標	基準年 原単位など	目標年 目標原単位など	2011年度 実績原単位など	2011年度末 までの実績	達成度 自己評価		
製品にかかわる行動目標								
1:環境適合型製品	グリーンスター商品売上比率の向上		2014年度までにグリーンスター商品の売上比率50%を達成する [グリーン商品売上比率80%以上を継続]	-	50% [80%以上]	43% [92%]	[達成率100%]	☆☆

工場・事業所にかかわる行動目標

活動テーマ	目標	基準年 原単位など	目標年 目標原単位など	2011年度		達成度 自己評価		
				実績原単位など	2011年度末 までの実績			
上段:2011年度 下段:2010年度								
上段:対基準年度比 下段:(対前年度比)								
1:中長期の 温室効果ガス削減	中期の温室効果ガス削減		事業活動に伴うグローバルな温室効果ガスの排出総量を、2005年度に対して、2020年度に30%削減	132,213 (トン-CO2)	92,549 (トン-CO2)	44,343 54,217 (18.2%減)	66.5%減 (18.2%減)	☆☆
	長期の温室効果ガス削減		事業活動に伴うグローバルな温室効果ガスの排出総量を、2005年度に対して、2050年度に80%削減	132,213 (トン-CO2)	26,443 (トン-CO2)	44,343 54,217 (18.2%減)	66.5%減 (18.2%減)	☆☆
2:省エネルギー (電力・燃料等)	CO2排出量の削減 (国内生産拠点)		実質生産高原単位を1990年度に対して、2008年から2012年度(5年間)の平均値で35%削減	0.312 (トン-CO2/百万円)	0.203 (トン-CO2/百万円)	0.166 *1 0.185 *2 0.095 (トン-CO2/百万円)	46.9%減 (10.4%減)	☆☆
	CO2排出量の削減 (国内オフィス拠点)		CO2排出総量を1990年度に対して、2008年から2012年度(5年間平均)の平均値で9%削減	11,492 (トン-CO2)	10,458 (トン-CO2)	7,900 *1 8,533 *2 6,000 (トン-CO2)	31.3%減 (7.4%減)	☆☆
	CO2排出量の削減 (海外生産拠点)		生産高原単位を2004年度に対して、2012年度までに30%削減	0.235 (トン-CO2/百万円)	0.165 (トン-CO2/百万円)	0.213 0.206 (トン-CO2/百万円)	9.5%減 (3.2%増)	▲
	CO2排出量の削減 (海外オフィス拠点)		CO2排出総量を2004年度に対して、2012年度までに3%削減	5,099 (トン-CO2)	4,946 (トン-CO2)	7,249 7,496 (トン-CO2)	42.2%増 (3.3%減)	▲
3:CO2以外の 温室効果ガス削減	CO2以外の温室効果ガス削減		CO2以外の温室効果ガス総排出量(CO2換算)を2000年度に対し、2012年度までに90%削減する	7,278 (トン-CO2)	728 (トン-CO2)以下	34 3,007 (トン-CO2)	99.5%減 (98.9%減)	☆☆☆
4:省資源(水・紙)	水使用量の削減 (国内生産拠点)		実質生産高原単位を2000年度に対して、2012年度までに25%削減	0.0077 (千m3/百万円)	0.0058 (千m3/百万円)	0.0030 0.0045 (千m3/百万円)	61.2%減 (33.7%減)	☆☆☆
	水使用量の削減 (海外生産拠点)		生産高原単位を2004年度に対して、2012年度までに15%削減	0.0039 (千m3/百万円)	0.0033 (千m3/百万円)	0.0041 0.0045 (千m3/百万円)	4.5%増 (9.1%減)	▲
	オフィス用紙使用量の削減 (国内拠点)		売上高原単位を2007年度に対して、2012年度までに10%削減	0.00035 (トン/百万円)	0.00032 (トン/百万円)	0.00048 0.00047 (トン/百万円)	37.1%増 (3.1%増)	▲
5:廃棄物発生量	廃棄物発生量の削減 (国内拠点)		実質生産高原単位を2000年度に対して、2012年度までに50%削減	0.024 (トン/百万円)	0.012 (トン/百万円)	0.0145 0.014 (トン/百万円)	39.6%減 (6.3%増)	☆☆
	廃棄物発生量の削減 (海外生産拠点)		生産高原単位を2004年度に対して、2012年度までに30%削減	0.012 (トン/百万円)	0.008 (トン/百万円)	0.0031 0.0083 (トン/百万円)	73.9%減 (62.2%減)	☆☆☆
6:VOCの削減 (揮発性有機化合物)	VOC大気排出量の削減 (国内生産拠点)		2000年度に対して、2015年度までに45%削減	47 (トン)	26 (トン)	3 21 (トン)	94.6%減 (88.0%減)	☆☆☆
7:有害物質の 使用廃止	保管中のPCB含有機器を日本環境安全事業(株)のエリア別事業開始に合わせ無害化処理を行う		甲府カシオ保管分無害化処理は2014年度までに実施する	-	-	-	-	☆☆
8:PRTR法 対象化学物質の 排出量削減	対象化学物質の排出量削減 (国内生産拠点)		実質生産高原単位を2003年度に対して、2012年度までに40%削減	0.00011 (トン/百万円)	0.00007 (トン/百万円)	0.00001 0.00003 (トン/百万円)	88.8%減 (61.4%減)	☆☆☆
9:グリーン調達	グリーン調達率の向上		2011年度 グリーン部品調達率(資材発注全部品に対するグリーン部品(*4)の率) 国内/海外拠点 100%(*5)を維持継続する(*4)カシオ指定の禁止物質を含有しない部品・材料(*5)顧客要望に基づき、法規制範囲内での含有は除く	-	2011年度 100%	国内100% 海外100%	-	☆☆☆
10:グリーン購入	文具・事務用品・OA機器類のグリーン購入比率を75%とする(国内拠点)		2012年度購入比率(件数ベース)75%	-	75%	63.7%	-	☆☆
11:物流温暖化対策	CO2発生量の削減 *3 (国内物流)		国内売上高原単位で2005年度に対し2012年度に22%削減	-	2012年度 22%削減	2005年度比 75.6%	2005年度比 24.4%削減	☆☆

事業活動全般にかかわる行動目標

1:生物多様性の保全	生物多様性・生態系サービスの保全		2011年度までに すべての事業領域において生物多様性影響度調査を行い、施策テーマを制定する	-	-	-	生物多様性影響度調査のための基盤づくりを実施 Ke-ラーニング実施、チェックリストの検討	☆☆
------------	------------------	--	--	---	---	---	---	----

*1 2008年度～2011年度の4年間の平均値となります。*2 2008年度～2010年度の3年間の平均値となります。*3 物流温暖化対策の削減対象範囲は製品・販売物流となります。